

FX最高スキル

『水平線理論』

実践時の
チャート設定ガイド

著作権

◆著作権について

本教材は、著作権法で保護されている著作物です。

本ガイドの著作権は、
ジャパントレーダーズアカデミー、ならびに、中村拓哉、に帰属します。

書面による事前許可なく、本教材の一部、または全部をインターネット上に公開すること、流用および転売(オークション含む)することを禁じます。

本教材をあらゆるデータ蓄積手段(印刷物、電子ファイル、ビデオ、DVD、およびその他電子メディアなど)により複製、流用および転載することを禁じます。

チャートの基本設定

こんにちは！
ナビゲーター 兼 講師の中村拓哉です。

この【特典7】では、水平線理論・実践時のチャート設定についてお伝えしていきます。

チャートは、FXトレードをする上で、必須のものとなりまして、トレーダーにとって、大切な道具となります！！

ここでは、世界中で広く使われている無料のチャートソフト

MT4(メタトレーダー4)を使用して解説します。

PDFだけでは、どう考えましても、チャート設定の仕方が伝わらないと思い、あなたのスムーズなトレード環境の設定を願い、動画でも解説をいたしました。

なお、ダウンロードや口座開設、そして、基本的な使い方につきましては、

【特典4】無料口座開設ガイドにて、ご案内していますので、

そちらをご参照くださいませ。

それでは、早速、チャート設定に移ってまいりましょう！！

チャートの基本設定

まず、チャートの基本設定は、

右上から日足、右下に4時間足、左上に1時間足、左下に15分足 とします。

このような設定にすることで、マルチタイムフレーム(複数時間枠)でチャートを観察することができ、相場環境の把握が容易になってきたり、トレードポイントが明確になってきます。

なぜ、このような設定にするのか？ですが、簡単に言いますと、同じ通貨ペアではあるものの、各チャート、即ち、日足、4時間、1時間足、15分足、各々に存在する波(ローソク足の連なり)は、揃うときもあれば、バラバラになっている時もあるからです。(という風に今はご理解ください^^)

それら各時間軸に存在する波を、総合的一体的に観るために、1つの画面に複数のチャートを表示して、相場環境を観る、というわけです。



チャートの基本設定

次に、補足としまして、

チャートソフト(MT4)に、4枚の同じ通貨ペアのチャートを表示したら、ボリンジャーバンドという補助ツール(インジケーター)を表示していきます。水平線理論におきまして、このボリンジャーバンドは、どの水平線が有効なのか、重要なのか?ということをお補完してくれる便利なツールの1つとなります。

これは、MT4内に標準装備されていますので、それを使用する流れとなります。

下図のチャートは、ローソク足チャートにボリンジャーバンド追加したものとなります。以下、ボリンジャーバンドを設定する際の数値となります。

期間 20

偏差の数値 1と2 (1 & 2シグマの2つバンドを表示します)



チャートの基本設定

いかがでしたでしょうか？

チャート設定は、無事に完了することができましたでしょうか？

是非とも、今のうちに、トレード環境を整えていただき、
来る資産構築に向けて、良いスタートを切ってくださいねと思います^^

以上が【特典7】水平線理論実践時のチャート設定となります。

ナビゲータ 兼 講師

中村 拓哉